

産業廃棄物処理計画書

令和 5 年 6 月 30 日

福岡県知事 殿

提出者

住所 福岡県福岡市博多区博多駅前1-13-1
九勸承天寺通りビル11階
氏名 住友林業株式会社 住宅事業本部
福岡支店 支店長 浅田 知昭
電話番号 092 - 432 - 2760

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

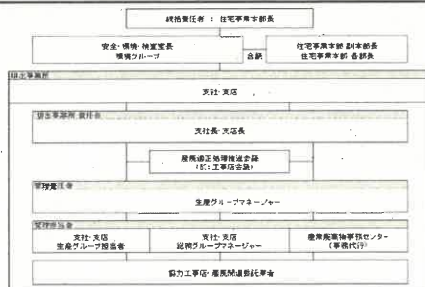
事業場の名称	住友林業株式会社 住宅事業本部 福岡支店
事業場の所在地	福岡県福岡市博多区博多駅前1-13-1 九勸承天寺通りビル11階
計画期間	令和5年4月1日 から 令和6年3月31日まで

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	D. 建設業
② 事業の規模	売上高（連結）1,669,707百万円（2022/12期）
③ 従業員数	住友林業株式会社 5,733名（2023/4）（福岡支店 87名）
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	全量処理業者へ委託し再生利用を行っている。

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 4 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
	排出量	55 t	68 t
	産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず
	排出量	291 t	4 t
	産業廃棄物の種類	金属くず	ガラスくず等
	排出量	56 t	256 t
	産業廃棄物の種類	がれき類	建設混合廃棄物
	排出量	708 t	16 t
	産業廃棄物の種類	管理型混合廃棄物	安定型混合廃棄物
	排出量	307 t	60 t
産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物（石綿含有）	カラスくず等（石綿含有）	
排出量	1 t	15 t	
（これまで実施した取組）			
新築系：部材のプレカット実施 現場搬入部材の最小化（CAD積算数量の精査） 部材のリユースの実施 解体系：分別解体の実施 木くずリサイクルルートの構築			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
	排出量	50 t	62 t
	産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず
	排出量	262 t	4 t
	産業廃棄物の種類	金属くず	ガラスくず等
	排出量	50 t	230 t
	産業廃棄物の種類	がれき類	建設混合廃棄物
	排出量	638 t	15 t
	産業廃棄物の種類	管理型混合廃棄物	安定型混合廃棄物
	排出量	276 t	54 t
産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物（石綿含有）	カラスくず等（石綿含有）	
排出量	1 t	14 t	
（今後実施する予定の取組）			
現状システムの更なる推進を図る。 ・木質以外のプレカットの実施 ・省梱包化 ・部材のリユース促進 ・現場搬入部材最小化チェックの実施			
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組 新築系：木くず、廃プラ、ダンボール（紙くず）、石膏ボード、金属くず、その他の不燃物、その他の可燃物の7分別の実施。		
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 100%分別の実施。		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 4 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	金属くず	ガラスくず等
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	がれき類	建設混合廃棄物
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	管理型混合廃棄物	安定型混合廃棄物
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物（石綿含有）	ガラスくず等（石綿含有）
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	金属くず	ガラスくず等
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	がれき類	建設混合廃棄物
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	管理型混合廃棄物	安定型混合廃棄物
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物（石綿含有）	ガラスくず等（石綿含有）
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和 4 年度）実績】		
産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
産業廃棄物の種類	金属くず	ガラスくず等
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
産業廃棄物の種類	がれき類	建設混合廃棄物
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
産業廃棄物の種類	管理型混合廃棄物	安定型混合廃棄物
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物（石綿含有）	ガラスくず等（石綿含有）
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまで実施した取組)		

②計画

【目標】		
産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
産業廃棄物の種類	金属くず	ガラスくず等
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
産業廃棄物の種類	がれき類	建設混合廃棄物
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
産業廃棄物の種類	管理型混合廃棄物	安定型混合廃棄物
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物（石綿含有）	ガラスくず等（石綿含有）
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（ 4年度）実績】			
①現状	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	金属くず	ガラスくず等
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	がれき類	建設混合廃棄物
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	管理型混合廃棄物	安定型混合廃棄物
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物（石綿含有）	ガラスくず等（石綿含有）	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	
(これまでに実施した取組)			
【目標】			
②計画	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	金属くず	ガラスくず等
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	がれき類	建設混合廃棄物
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	管理型混合廃棄物	安定型混合廃棄物
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物（石綿含有）	ガラスくず等（石綿含有）	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	
(今後実施する予定の取組)			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項 1枚目 (1品目目から4品目目)

		【前年度 (4年度) 実績】			
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	
①現状	全 処 理 委 託 量	55	t	68	t
	優 良 認 定 処 理 業 者 へ の 処 理 委 託 量	55	t	68	t
	再 生 利 用 業 者 へ の 再 処 理 委 託 量	55	t	68	t
	認 定 熱 回 収 業 者 へ の 処 理 委 託 量	0	t	0	t
	認 定 熱 回 収 業 者 以 外 の 熱 回 収 を 行 う 業 者 へ の 処 理 委 託 量	0	t	0	t
	産 業 廃 棄 物 の 種 類	木くず		繊維くず	
	全 処 理 委 託 量	291	t	4	t
	優 良 認 定 処 理 業 者 へ の 処 理 委 託 量	153	t	4	t
	再 生 利 用 業 者 へ の 再 処 理 委 託 量	291	t	4	t
	認 定 熱 回 収 業 者 へ の 処 理 委 託 量	0	t	0	t
認 定 熱 回 収 業 者 以 外 の 熱 回 収 を 行 う 業 者 へ の 処 理 委 託 量	0	t	0	t	
(これまでに実施した取組) 新築工事で発生する産業廃棄物のゼロエミッション。					
		【目標】			
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	
②計画	全 処 理 委 託 量	50	t	62	t
	優 良 認 定 処 理 業 者 へ の 処 理 委 託 量	49	t	62	t
	再 生 利 用 業 者 へ の 再 処 理 委 託 量	50	t	62	t
	認 定 熱 回 収 業 者 へ の 処 理 委 託 量	0	t	0	t
	認 定 熱 回 収 業 者 以 外 の 熱 回 収 を 行 う 業 者 へ の 処 理 委 託 量	0	t	0	t
	産 業 廃 棄 物 の 種 類	木くず		繊維くず	
	全 処 理 委 託 量	262	t	4	t
	優 良 認 定 処 理 業 者 へ の 処 理 委 託 量	138	t	4	t
	再 生 利 用 業 者 へ の 再 処 理 委 託 量	262	t	4	t
	認 定 熱 回 収 業 者 へ の 処 理 委 託 量	0	t	0	t
認 定 熱 回 収 業 者 以 外 の 熱 回 収 を 行 う 業 者 へ の 処 理 委 託 量	0	t	0	t	
(今後実施する予定の取組) <ul style="list-style-type: none"> ・委託処理業者の優良認定促進 ・新築産業廃棄物、ゼロエミッションの継続 ・解体産業廃棄物、再生率のアップ 					

産業廃棄物の処理の委託に関する事項 2枚目 (5品目目から8品目目)

【前年度 (4年度) 実績】			
産業廃棄物の種類		金属くず	ガラスくず等
①現状	全 処 理 委 託 量	56 t	256 t
	優 良 認 定 処 理 業 者 へ の 量	46 t	134 t
	優 良 認 定 処 理 委 託 量		
	再 生 利 用 業 者 へ の 量	56 t	256 t
	再 生 利 用 委 託 量		
	認 定 熱 回 収 業 者 へ の 量	0 t	0 t
	認 定 熱 回 収 委 託 量		
	認 定 熱 回 収 業 者 以 外 の 熱 回 収 を 行 う 業 者 へ の 量	0 t	0 t
	認 定 熱 回 収 委 託 量		
	産 業 廃 棄 物 の 種 類	がれき類	建設混合廃棄物
	全 処 理 委 託 量	708 t	16 t
	優 良 認 定 処 理 業 者 へ の 量	674 t	16 t
	優 良 認 定 処 理 委 託 量		
	再 生 利 用 業 者 へ の 量	708 t	16 t
再 生 利 用 委 託 量			
認 定 熱 回 収 業 者 へ の 量	0 t	0 t	
認 定 熱 回 収 委 託 量			
認 定 熱 回 収 業 者 以 外 の 熱 回 収 を 行 う 業 者 へ の 量	0 t	0 t	
認 定 熱 回 収 委 託 量			
(これまでに実施した取組)			
【目標】			
産業廃棄物の種類		金属くず	ガラスくず等
②計画	全 処 理 委 託 量	50 t	230 t
	優 良 認 定 処 理 業 者 へ の 量	42 t	121 t
	優 良 認 定 処 理 委 託 量		
	再 生 利 用 業 者 へ の 量	50 t	230 t
	再 生 利 用 委 託 量		
	認 定 熱 回 収 業 者 へ の 量	0 t	0 t
	認 定 熱 回 収 委 託 量		
	認 定 熱 回 収 業 者 以 外 の 熱 回 収 を 行 う 業 者 へ の 量	0 t	0 t
	認 定 熱 回 収 委 託 量		
	産 業 廃 棄 物 の 種 類	がれき類	建設混合廃棄物
	全 処 理 委 託 量	638 t	15 t
	優 良 認 定 処 理 業 者 へ の 量	607 t	15 t
	優 良 認 定 処 理 委 託 量		
	再 生 利 用 業 者 へ の 量	638 t	15 t
再 生 利 用 委 託 量			
認 定 熱 回 収 業 者 へ の 量	0 t	0 t	
認 定 熱 回 収 委 託 量			
認 定 熱 回 収 業 者 以 外 の 熱 回 収 を 行 う 業 者 へ の 量	0 t	0 t	
認 定 熱 回 収 委 託 量			
(今後実施する予定の取組)			

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 4年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類（石綿含有）		
	排出量	0 t	t	
	産業廃棄物の種類	がれき類（石綿含有）		
	排出量	6 t	t	
	産業廃棄物の種類			
	排出量	t	t	
	産業廃棄物の種類			
	排出量	t	t	
	産業廃棄物の種類			
	排出量	t	t	
	（これまでに実施した取組） 新築系：部材のプレカット実施 現場搬入部材の最小化(CAD積算数量の精査) 部材のリユースの実施 解体系：分別解体の実施 木くずリサイクルルートの構築			
	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック類（石綿含有）	
排出量		0 t	t	
産業廃棄物の種類		がれき類（石綿含有）		
排出量		5 t	t	
産業廃棄物の種類				
排出量		t	t	
産業廃棄物の種類				
排出量		t	t	
産業廃棄物の種類				
排出量		t	t	
（今後実施する予定の取組） 現状システムの更なる推進を図る。 ・木質以外のプレカットの実施 ・省梱包化 ・部材のリユース促進 ・現場搬入部材最小化チェックの実施				
産業廃棄物の分別に関する事項				
①現状		（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組 新築系：木くず、廃プラ、ダンボール（紙くず）、石膏ボード、金属くず、その他の不燃物、その他の可燃物の7分別の実施。		
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 100%分別の実施。			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。